

第二副地区ガバナー所感

金沢城北ライオンズクラブ所属
荒尾 勝彦

「We Serve とライオニズム」

We Serve を唱えて私も早くも二十数余年 誠の We Serve を唱えられていたのかと、今 反省の念に駆られている次第です。

心 新たにライオニズムを重んじ、善良なる市民の一員として何をなすべきかを、今になって考えさせられている現状でございます。

本年度より、第二副地区ガバナーと称する重要なポストが新設され、私が初代の重責を拝命する事になり、責任の重さを痛感しております。

この重責の任に当たり、我がクラブメンバーの協力はもとより、各クラブメンバーのお力をお借りして、より良きライオンズクラブ創りに努めると共に、この時代にこそライオニズムを培い、ライオンズメンバーが一丸となり、誠の“ライオンと呼ばれる人”にならなければと思います。

私の心に強く刻まれている文語に友情・親善・相互理解の絆によってクラブの融和を計ると言う素晴らしいライオンズクラブの目的があります。この目的を考えるにあたり、昨今ライオンズクラブの弱体化も、まずはクラブメンバー同志の融和が計られていたのではあるでしょうか？また時の流れとばかりに不況を相手に一人相撲を取ってはいなかったであろうか？と思うばかりであります。

このような時にこそ、クラブメンバー同志の友情と相互理解・クラブ同志の親善と友好など、もっとライオンズメンバーがしっかりとした絆で結ばれ“**We Serve**”のモットを忘れなければ退会者もなく、また新しいメンバーの受け入れも十分可能であると信じて、本年 ライオンズメンバーのご指導ご協力を頂戴して私自身は、さらなる努力精進を致す所存でございます。